

# 羽田空港航路取得について

2013年3月28日

株式会社ケーエムシーコーポレーション

## 【航路開設の意義】

東京・横浜から羽田空港への船を使つての海からのアクセスが初めて可能となります。

羽田棧橋開設より2年近く経過しましたが、このたび羽田棧橋－横浜ふかり棧橋、羽田棧橋－東京お台場の不定期航路を開設することができました。

船でのアクセスは、従来のアクセス方法であった陸路とは違い、各地区と空港を乗り換えなしでダイレクトに結ぶことができます。また、移動するだけではなく、海側からならではの景観を楽しみながら、その後の行程への期待感を膨らませることができます。

MICE開催時の交通アクセスの向上や魅力あるアフターコンベンションの創出も期待できます。

## 【航路開設の効果】

- ・飛行機の利用客のみならず、羽田空港自体を新たな観光資源として広く周知し、従来ご覧いただけなかった海側からの空港の姿や頭上を飛来する飛行機等ご覧いただくことにより、空港の新たな魅力を開拓できます。

- ・航路周辺にある複数のビューポイントをご案内できます。

羽田空港付近

真下から眺められる羽田空港の離発着機

東京航路

東京大井埠頭のガントリークレーン群

レインボーブリッジ・ゲートブリッジ

東京の摩天楼

お台場海浜公園

横浜航路

京浜工業地帯の工場群

横浜ベイブリッジ・鶴見つばさ橋

横浜港内の船舶

みなとみらい地区の高層ビル群

- ・お台場・みなとみらい地区はともに宿泊施設・ショッピング施設が充実し、観光客からの人気が高く、羽田から直接アクセスできるルートを確認することにより、両地区の更なる集客を図れます。

## 【想定される利用者】

- ・羽田空港利用のお台場・みなとみらい地区ホテル宿泊客
- ・羽田空港利用の有明ビッグサイト、パシフィコ横浜で開催される会議・催し等参加者
- ・羽田空港を利用してお台場・みなとみらい地区施設を観光するお客様
- ・お台場・みなとみらいから羽田空港自体を観光するお客様



## 【羽田空港航路詳細内容について】

### ■基本内容

#### ・使用船舶

- オセアンブルー（98トン、旅客定員144名）
- リザーブ1（49トン、旅客定員68名）
- オーシャンクラフト（45トン、旅客定員65名）
- MY2（18トン、旅客定員30名）

### ■運航形態及び内容

#### ・羽田ーぶかり

本日（平成25年3月28日）よりチャーターベースで運航を開始いたします。運航開始時刻は任意といたします。

#### ・羽田ーお台場

本年6月よりチャーターベースで運航を開始いたします。（お台場栈橋との調整のため）  
当面は週1往復程度（案：土曜日の往復1便）の定時運航を予定しております。ただし、潮位の関係により運航時刻が変更になる可能性があります。

### ■将来展開

#### ・羽田ーぶかり

羽田空港と横浜市内ホテルを結ぶ航路として、軽食付きの“クルージング・ラウンジ”を企画して参ります。将来的には、空港チェックインカウンターとホテルフロントが融合した機能を付加できるよう検討して参ります。

また、みなとみらい地区を中心にコンベンション施設が集積する横浜市のMICE機能強化に向け航空会社様や旅行会社様と連携を図り、定期航路による海上輸送のアクセス向上を目指します。

#### ・羽田ーお台場

東京湾は古くから海上輸送による経済発展が築かれた場所であり、観光資源も豊富であることから、経済再生牽引への助力ならびに観光振興の強化を目指して参ります。

具体的には、羽田空港国際線の発着枠の拡大など、国際需要の高まりによる将来性が期待されるなか、羽田ーお台場地区間における商談用“パワー・クルージング”や、お台場コンベンション施設への海上アクセスなど、羽田ーMICE間の緩和措置も注視しながら定期航路的な乗合運航に向け準備して参ります。

また、お台場協議会様等と調整させていただき、一つの団体に限らず、周辺施設が共同して利用者を募集し予約制で運航することも検討いたします。



以上